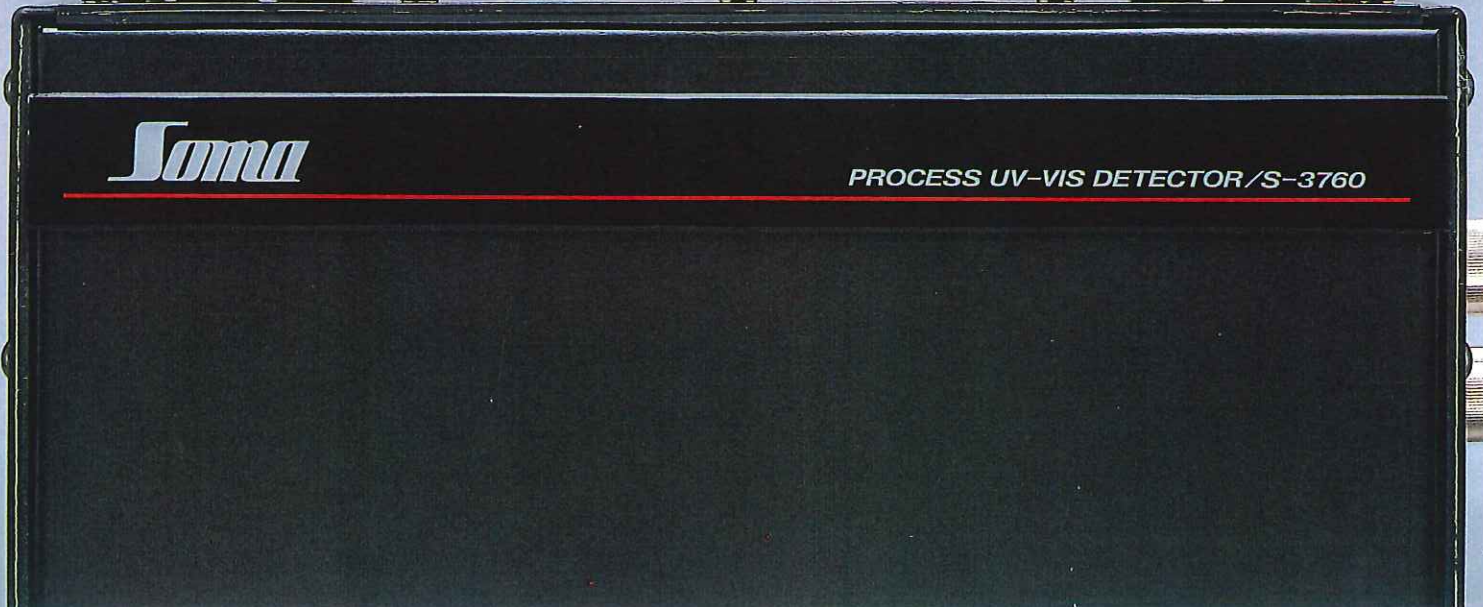
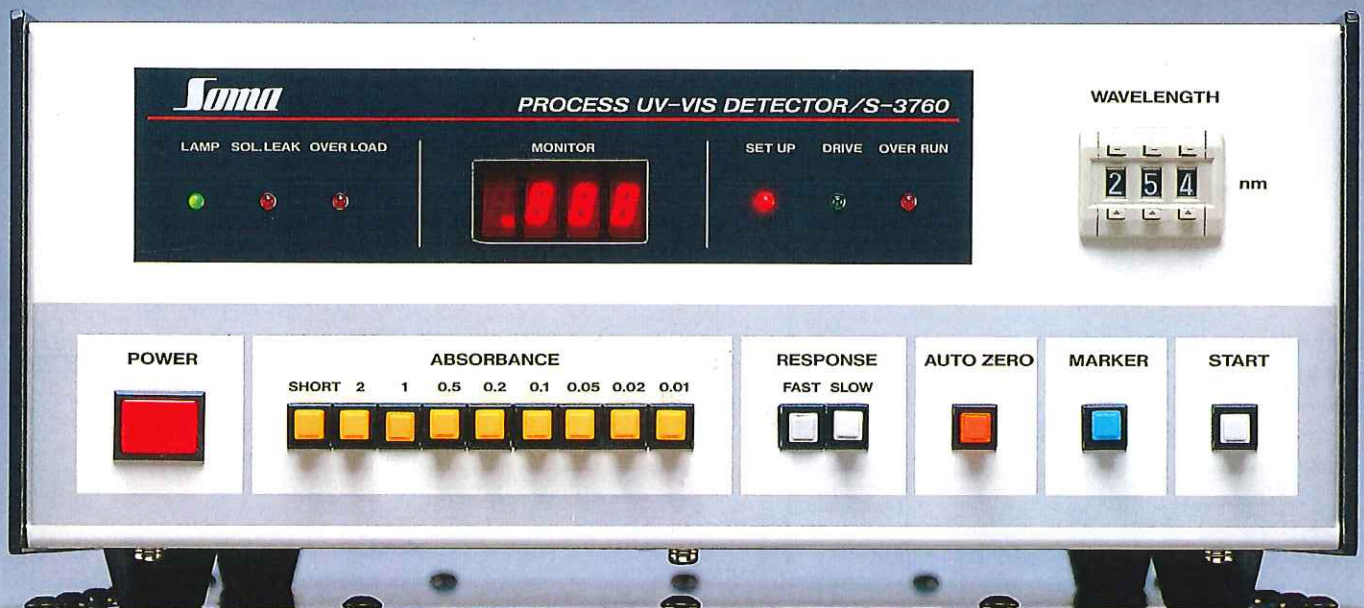


Soma

大量分取時代の幕開けに!
プラント現場での分析を容易にした
セパレートタイプ

S-3760

プロセス用紫外可視分光検出器



プロセス用紫外可視分光検出器 S-3760

概要

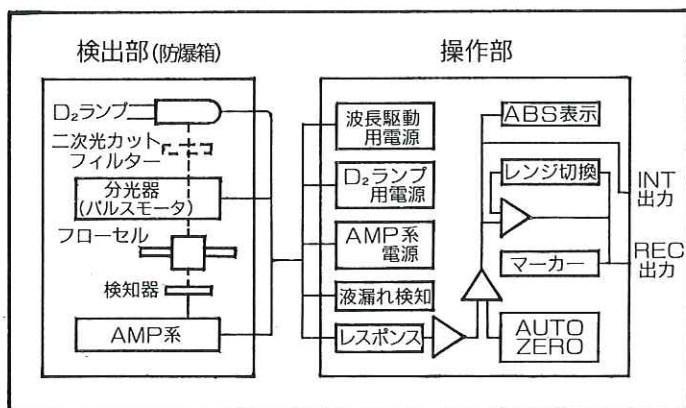
高速液体クロマトグラフ(HPLC)も、分析の段階から実際に試料を大量分取する工業プラント用に利用されるようになり、これに適切なプロセス用の紫外可視検出器の開発が望まれていました。ここに相馬光学が開発しました「S-3760」は、3/8インチサイズの配管で毎分5リットル程度の流量にも対応できるようなHPLC用波長可変型紫外可視分光検出器です。

特長

検出部と操作部が完全に分離され、遠隔操作ができます。検出部は光源、分光器、フローセル等を含む光学系で構成され、常時エア+通風(窒素不可)のできる防爆箱に収納されており、操作部は信号処理系と制御系で構成されており、検出部から最長100メートル程度離れた所からリモートコントロールできます。



構成



仕様

構成	操作部、検出部、分離型 最大離間距離100m 操作部 パネルマウント型 検出部 簡易防爆(エアパーシ構造)
波長範囲	195~600nm (操作部のデジタルスイッチにより設定 (400nm以上は、2次光カットフィルターを入れる))
測光方式	ダブルビーム方式
光学系	モンクギリソソ型、回折格子1200本/mm
波長正確さ	±2nm
波長設定繰返し精度	±1.0nm
スペクトルバンド幅	7nm
光源	重水素ランプ
受光器	シリコンホトダイオード
試料セル	カセット式 光路長 1.0mm、材質 SUS316 耐圧 60kg/cm ² 、流量 3000ml/min 配管 1/4" SUS316 スウェージロック方式 (注. 特別注文にて、1/8"、3/8"の配管も可能)
測光レンジ	0.01、0.02、0.05、0.1、0.2、0.5、1、 2 ABU/FS(8段)、SHORT(出力0)
最小検知感度	0.0001 ABU(ノイズ等価) (波長250nm、レスポンス SLOW、空気セル)
レスポンス	FAST(0.05秒)、SLOW(1秒)
波長表示	デジタルスイッチによる表示3桁(nm)
波長駆動	操作部のデジタルスイッチで波長を設定し、 検出部の2相ステッピングモーターを駆動
レコーダー出力	0~10V
データ処理出力	5V/ABU
オートゼロ	吸光度1.3の溶媒まで可能 繰返し精度: 測光レンジ0.02で±1% 外部からオートゼロを動作させる時は EXT. AUTO端子に接続
マーカ	約1V 外部からマーカを動作させる時は、 EXT. MARKER端子に接続
ノイズレベル	0.0001ABU (波長250nm、レスポンスSLOW、空気セル)
ドリフト	0.001ABU/hr (波長250nm、空気セル、室温一定 POWER ON 1時間後)
液モレチェック	操作部上でLED表示、ブザー
接続コード	検出部はコネクター 操作部は、矢形圧着端子を使用し 端子台を取付ける
電源	AC100/115/220V、50/60Hz
使用温度範囲	10~40°C
重量	40kg(操作部+検出部)
形状	操作部 幅300×奥行450×高さ120mm 検出部 幅385×奥行560×高さ160mm

Soma 株式会社相馬光学

東京都西多摩郡日の出町平井23-6

TEL 042-597-3256

FAX 042-597-3208

E-mail sales@somaopt.co.jp

Web http://www.somaopt.co.jp

※本仕様・外観は改良のため予告なく変更することがあります。